

20年後、30年後を生きる子どもたち

正解のない世の中を生き抜く力

協働して作り出す力 ⇔ AI

持続可能な社会を生み出す力

地域・保護者の願い

ふるさとに根っこをもつ子ども

学力の定着・活力のある姿

人間力・生活力を大切にする学校

本校のめざす
学校像

わくわく

にこにこ

きらきら

教育目標

いきいき学ぶ みんな輝く 未来へ進む 東栄小

「ちえ輝く子、やさしさ輝く子、げんき輝く子」の育成に向けた教育を行う。

令和4年度めざす子どもの姿

ともに成し遂げた経験をもち、考え、伝え合い、行動する子ども

学級における具体的な子どもの姿

学ぶことが楽しいと思える子

ともだちと学びあえる子

気持ちのよいあいさつができる子

メリハリのある生活ができる子

級訓

がんばる えがお あきらめない 二年生

最後まであきらめず頑張り抜く2年生、2年生の笑顔で学校全体を笑顔にしたい

指導・支援の内容

○授業のなかで

・分からない子も参加できるようにするために、「わからない」と堂々とと言える学級の雰囲気づくりに努める。

○わくわくするような導入

・子どもの生活体験を生かしたり、具体物を効果的に使った導入のあり方を工夫したりする。

○めあての設定

・子どものつばやきを大切にして、それを次の授業につなげることで課題に主体的に臨めるようにする。

○子ども自身の話す力・聴く力

・自分の考えを友達に伝えることができるように、伝えたい相手は誰かを常に考えるよう声をかける。

・友達の発言を聴く力を育むために、発言している子の方に体を向けて聴くよう、繰り返し声をかける。

○担任が発言を広げる。

・担任が一人の発言を、「今のどう思う？」と学級全体に広げる切り返しをすることで、子ども同士の学びにつな

○あいさつの習慣

・あたりまえにあいさつができる学級を目指して、まずは担任が進んで気持ちのよいあいさつをすることで手本を示す。

○気持ちのよいあいさつ

①大きな声で

②目をみながら

③自分から

④にこっとわらって

上記の4つを学級全体で共有するために、よいあいさつができている子を具体的な言葉でほめ、周りに広げる。

○時間への意識を高める

・ゲーム性を取り入れた活動を工夫することで、子どもが楽しみながら時間を守れるようにする。

・子どもが授業の開始時刻を意識できるようにするために、日課表の掲示を工夫するとともに、時間を意識した行動ができていたり、友達への声かけができていたりする子を積極的に認める。

○休み時間を上手に使える子

・休み時間は担任と一緒に外で遊んだり、読書をしたりするなど、子どもとともに過ごすことで、休み時間の上手な使い方を考えるように促す。